

【令和7年度尼崎市英語コミュニケーション事業(オンライン留学)に係る受託業務公募型プロポーザル】質問に対する回答

番号	質問内容	回答
1	事業実施期間及び場所 (1)実施期間「契約締結日から令和8年3月31日まで【実施日 8月5日(火)】」とありますが、8月5日(火)の1日の中で、80名を対象に1人あたり4回実施するという認識でよろしいでしょうか。また、「同時最大40人／レッスン」とあるため、例えば午前と午後の2部に分け、尼崎市立教育総合センターで40名が同じ時間に一斉にオンラインレッスンを受けるという認識でよろしいでしょうか。	午前に40名が一斉にレッスンを受講します。 午後も同様の形で行います。 午前と午後のプログラムは同様のものとし、生徒は午前、午後ともに25分間のレッスンを4回実施し、1つのプログラム(午前、午後それぞれのプログラム)となります。
2	「①尼崎市の使用教科用図書に対応した教材及び指導案を受注者が作成・提供するものとする。」とありますが、尼崎市様の選択している中学英語教材は光村図書の「Here we go!」で間違いないでしょうか。また、過去にオンライン英会話業務を実施していた場合、教材はどのようなものを使用していたかご教示ください。	教科書は光村図書の「Here we go!」です。 過去に使用していた教材は、学校のニーズに合わせて、教科書の範囲指定をしたもの、あるいは自由度の高いもののどちらかです。
3	事業の性質上、病気等やむを得ない事情による生徒様の病欠・欠席等のキャンセルが予想されます。 病欠などは事前の予想が不可能であるため、事前申請などは不要で、自宅でも受講できるなどの欠席補償(代替措置)を全て行わせていただく想定をしております。 このような欠席補償の考え方について、貴委員会としても同様のご認識でよろしいでしょうか。 相違がある場合は目安となる欠席補償の条件などご教示いただけますと幸いです。	欠席に対する代替措置は予定していません。

4	指導案については「教育委員会と打合せの上、要望に沿って作成」とありますが、指導案に含めるべき具体的な項目について、ご教示いただけますでしょうか。 あわせて、現場の先生方のご意向などについては、教育委員会側である程度整理いただいた上で共有いただける認識でよろしいでしょうか。	指導案に関しては打ち合わせで決定しますが、海外留学で必要な表現を含んだものを予定です。 現場の先生方の意向については、教育委員会で把握して共有します。
5	教材について「使用教科書に対応」と記載がありますが、これは教科書の構成および内容の両面において、完全に一致するものが求められるのか、それとも、同等レベルの学習内容であれば差し支えないのか、ご教示いただけますでしょうか。	同等レベルの学習内容でかまいません。
6	実施場所として指定されている教育総合センターにおいて、オンライン留学の実施に支障のない通信環境(Wi-Fi 等)は整備されておりますでしょうか。 もし整備されていない場合、受注者側で通信手段を用意する必要があるかどうか、あわせてご教示ください。	整備しています。
7	本事業は全4回と限られた機会での実施となるため、レッスン時間に確実に履行することを考えると万が一、通信トラブルや講師の急な対応不良が発生した場合には、即座に講師交代などの対応が求められるものと理解しておりますが、認識に相違ないでしょうか。	ご認識の通りです。

8	(1)オンライン英会話の条件の①通信ソフトについて、アプリのダウンロードをせず、Google Chromeでアクセスできれば他のツールでも問題ないかご教示ください。	問題ありません。
9	講師に関して人数が不足した場合に再委託によって対応する可能性があります但那のような対応は認められますでしょうか。	認められません。
10	講師の勤務形態について「原則出社型」とありますが、当社では講師は指定のPCスペックおよび通信安定性をクリアした講師のみを採用しております。さらに各講師には万一の通信トラブルに対応できるよう代替の回線も確保しており、通信安定性を担保しております。 また騒音に対しましてもノイズキャンセルヘッドセットを使用しており指定の条件(通信品質・静穏な教育環境)には十分対応できております。そのため本仕様を前提としている懸念点を解消できる状態と理解しておりますが、その場合においても出社型が指定されますでしょうか	講師の勤務形態については、仕様書7(8)に記載の通りです。
11	ヘッドセットやタブレットは、教育委員会様の方でご用意されるという認識でよろしいでしょうか。	ご認識の通りです。

12	講師「(8)インターネット回線の安定性及び騒音の防止等適切な教育環境を確保するため、講師は在宅型勤務ではなく出社型の勤務形態であること。」とありますが、在宅でもインターネット回線等の各種インフラの安定性は確保可能であり、他自治体でも安定したレッスンの提供実績が示せる場合、在宅型の勤務形態を含む形でレッスンを提供する形でも問題ないでしょうか。	講師の勤務形態については、仕様書7(8)に記載の通りです。
13	過去に実施していた場合、頻繁に起こっていたトラブルや課題等はございますか。	これまでに同様の事業を実施したことはありません。
14	想定しているサポーターの勤務時間についてご教示ください。	9:00～16:30です。 (休憩1時間)
15	オンライン留学の実施場所として「教育総合センター」が指定されていますが、当該施設の使用に係る会場費用は、受注者側での負担が必要でしょうか。それとも発注者側で手配・費用負担いただける想定でしょうか。 ご教示いただけますと幸いです。	全て教育委員会の手配・負担となります。

16	・貴市の入札参加資格を現在有しておりませんが、貴県内に多くの提供実績があるためプロポーザル参加をさせていただきたく思っております。決算書や納税証明書等の資料をご提出することにより参加を許可していただくことは可能でしょうか。	プロポーザル参加申請書(様式1)に記述の添付書類をあわせて提出して下さい。
17	・夏休み期間中に様々な学校の希望生徒が指定場所に集まり、最大40名が同時刻からスタートするオンライン留学を80名が1回受けるという理解で合っておりますでしょうか。 その場合、講師あつ旋時間 25分×2/回(講師)になるのではないかと認識だったためご教示いただけますと幸いです。	午前に40名が一斉にレッスンを受講します。 午後も同様の形で行います。 午前と午後のプログラムは同様のものとするので、生徒は午前か午後かのどちらかを選択することになります。 午前、午後ともに25分間のレッスンを4回実施し、1つのプログラム(午前・午後それぞれのプログラム)となります。
18	本業務において、他業者への一部再委託による履行は認めていただけますでしょうか。これまでも多くの類似事業を同一の会社との一部再委託によって履行してまいりました。	認められません。
19	外国人講師の自宅からの参加は認めていただけますでしょうか。講師の所属会社としてプライバシーマークを取得する等、プライバシー、セキュリティを担保できる体制は完備しております。	講師の勤務形態については、仕様書7(8)に記載の通りです。